

自主映画

「東九条」

の世界

柳原銀行記念資料館

二〇一七(平成二九)

年度企画展



1968年当時の須原通付近、廃品回収をしている男性

企画展示 入場無料

期間:2018年3月1日(木)~3月31日(土)
時間:午前10時~午後4時30分
場所:柳原銀行記念資料館

※月曜日・火曜日・祝日は休館します。
また、2月24日(土)~2月28日(水)
4月1日(日)~4日(水)は展示替えのため休館します。

記念シンポジウム 入場無料

日時:2018年3月24日(土)午後2時~午後4時(午後1時30分開場)
場所:京都市地域・多文化交流ネットワークセンター(南区東九条東岩本町31)
定員:80名(会場での先着順)

内容:自主映画「東九条」の監督に、映画を見ながら当時の思い出を語っていただきます。
講師:山内政夫(柳原銀行記念資料館事務局長, 自主映画「東九条」監督)
山本崇記氏(静岡大学人文社会科学部准教授)



1968年当時の十条鴨川付近

画像は全て自主映画「東九条」より

主催:京 都 市
NPO法人崇仁まちづくりの会
協力:地域福祉センター希望の家

この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ!



柳原銀行記念資料館

問合せ先: ☎(075) 371-0295
開館時間: 午前10時~午後4時30分
休館日: 月曜日, 火曜日, 祝日
入館料: 無料
交通機関: 京都駅 (JR, 地下鉄) から徒歩約8分
市バス205系統, 17系統「塩小路高倉」下車
※駐車場はありませんので、公共交通機関を御利用ください。
ホームページ: 京都市情報館 (<http://www.city.kyoto.lg.jp/>) から「柳原銀行記念資料館」で検索

京都市地域・多文化交流ネットワークセンター (記念シンポジウム会場)

交通機関: 京都駅 (JR, 地下鉄) 八条口から徒歩15分
※駐車場はありませんので、公共交通機関を御利用ください。

同じです あなたとわたしの 大切さ
平成30年2月発行
京都市文化市民局くらし安全推進部人権文化推進課
京都市印刷物第294992号



市民による自治120年
京都市
CITY OF KYOTO

自主映画「東九条」の世界～圧倒的な差別と貧困～

ごあいさつ

自主映画「東九条」は、東九条の青年や「京都セツルメント※連合会」の学生たちにより1967（昭和42）年に結成された「自主映画“東九条”製作上映実行委員会」による署名活動やカンパの結果、翌年から撮影が始まり、1969（昭和44）年に完成しました。撮影から半世紀を迎えた今年、この映像を見ながら当時を振り返りたいと思います。

この当時の東九条は、就業や住環境、教育環境の面で厳しく、特に住環境の面では、ひとたび火事が起これば多くの人々は焼け出され、時には逃げ場がなく焼け死ぬこともありました。実際に撮影中にも火事があり、撮影に参加していた青年の家が燃えて、映画はその支援の様子を克明に映しだしています。映画の撮影に際しては、地域の多くの団体による協力、支援があり、厳しい中にも支え合う良き時代を映しています。

本企画展では自主映画「東九条」が捉えたこの時代を見詰め、圧倒的な差別や貧困の問題を問うて、人権について改めて考えることを目的に様々な資料を展示します。崇仁地域への京都市立芸術大学の移転が計画され、東九条も文化や芸術を基調にしたまちへ変貌を遂げようとしている今日、映画が捉えている実態を映像や様々な資料を通して見詰め直して、まちの在り方をもう一度考える契機にしたいと思います。

※セツルメント：宗教家や学生が都市の貧困地域に移り住み、貧困に苦しむ人々と生活を共にしながら生活の改善を目指す運動

